

第1学年 道徳学習指導略案

日 時 令和4年12月10日(土)第2校時
 指導学級 興本扇学園足立区立興本小学校
 指導者 1組29名 指導者 関 多美子
 2組30名 指導者 黒田 元樹

- 1 主題名 こまっているともだちに
 2 教材名 くりのみ
 3 本時のねらい 身近な友達と仲良く活動し、助け合うことの大切さに気づき、困っているときには互いに助け合おうとする心情を育てる。

4 本時の展開

	学習活動	主な発問 (○) と予想される児童の反応 (C)	指導上の留意点
導入	1 冬の森を想像する。	○冬の森は、どんな様子でしょう。 C: 寒そう。 C: 葉っぱも花もない。 C: 食べ物がないで大変そう。	・冬の森の写真を提示し、物語の背景を抑えることで、教材への興味を高める。
展開	2 本文を読み、話し合う。	○きつねは、なぜどんぐりを隠したのでしょうか。 C: おなかがすいたときに、自分だけで食べたいから。 C: 自分のことしか考えていないから。 C: 誰にも渡したくないから。 C: 友達のうさぎにも知らせたくないから。 ◎きつねは、なぜ涙を流したのでしょうか。 C: うさぎが優しくしてくれたから。 C: うさぎが友達思いだから。 C: うさぎのくりのみは二つしかないのに、その一つを分けてくれたから。 C: きつねは自分のことしか考えていなかったのに、うさぎはきつねのことを考えてくれたから。 C: うさぎが自分のことを疑わず、信じていたから。 ○この後、きつねはどうしたでしょう。 C: うさぎにどんぐりを分けた。 C: 一緒に食べ物を探した。	・自分のことしか考えていないことを確認する。 ・うさぎのきつねに対する優しい気持ちについて考えさせる。 ・きつねの気持ちの変化を確認する。
終末	3 学習のまとめをする。	○こまっている友達がいたら、どうすればよいのでしょうか。 C: その子の気持ちを考えてあげる。 C: どうしたら助けられるか考える。 C: どうしてほしいか聞いて、助けてあげる。	◇学習課題に対して、自分の考えを道徳ノートに書かせる。

5 評価

- ・こまっている友達がいたらどうすればよいかを考えることができたか。【ワークシート】

道徳の授業についてのご意見、ご質問がありましたら下の URL または QR コードよりご記入ください。

<https://forms.gle/2xG5gCi3UXN2GGGb7>

